

制作協力番組のご案内 (制作:株式会社オペテージ)

村瀬先生の『ぶらり歴史歩き』

大阪・北浜編



村瀬哲史さん



川岸ゆかさん

「なにわの地理博士」と大手予備校・東進ハイスクールの人気講師・村瀬哲史さんの案内で、古地図を手に、大阪のまちの歴史や地理をご紹介します『村瀬先生のぶらり歴史歩き』。好評の「梅田編」「なんば編」に引き続き、現在、当協会のホームページでは「北浜編」「中之島編」「大阪城編」を公開中です。その中から「北浜編<前編・後編>」をご紹介します。

どうして「ライオン」なの?...古地図A

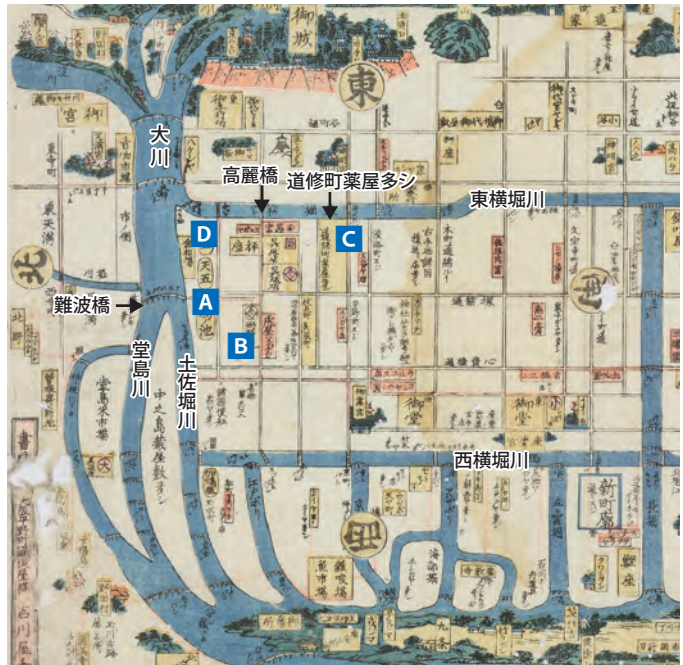
土佐堀川と堂島川の二つの川をまたぐ全長約190mの難波橋(堺筋)。その橋詰にあるライオン像は、大阪が「大大阪」と呼ばれた時代、世界一の観光地といわれたパリにあやかろうと、セーヌ川に架けられた「アレクサンドル3世橋」のライオン像をまねて設置されました。神社の狛犬のように「阿吽」の一对になっています。



難波橋にて



1870~1912年頃の高麗橋 (大阪市立図書館デジタルアーカイブより)



浪華名所案内(江戸末頃) (大阪市立図書館デジタルアーカイブより/部分)

日本で2番目に古い幼稚園...古地図B

明治13(1880)年の開園から140年以上の歴史をもつ大阪市立愛珠幼稚園。ビルの谷間に建つお屋敷のような建物は、重要文化財に指定されています。園内には畳敷きの「お茶室」もあり、ここで園児たちによるお茶会が行われ、日本文化を学ぶ場として利用されています。園庭には重要文化財指定の滑り台もあります。



玄関



内部



園庭

「張り子の虎」で新型コロナ退散を祈願...古地図C

薬のまち・道修町で、日本と中国の医薬の祖神が祀られている少彦名神社。本殿にある「張り子の虎」は、江戸末期の大阪でコレラ(虎狼痢)が流行した際、病名と薬(虎頭殺鬼雄黄圓)に「虎」の字が当てられたことにちなみ、薬とともに疫病退散のお守りとして配られたことに由来します。以来、同社独自のお守りとして広まりました。



少彦名神社



疫病退散のお守り「張り子の虎」

日本の近代化はここから始まった!...古地図D

天保元(1830)年に創業し190年の歴史を持つ老舗料亭・花外楼。ここは明治維新のとき、大久保利通、木戸孝允、板垣退助が立憲政府の樹立など日本の近代化を進める「大阪会議」を行った歴史的な場所です。現在の建物は4代目。伊藤博文直筆の大阪会議の顛末書や、「花外楼」と名付けた木戸孝允による屋号の書などもあります。



初代の花外楼



花外楼(内部)

伊藤博文直筆の大阪会議・顛末書 (お店の予約時に希望すれば閲覧可能)

番組でチェック!

- 高麗橋を基点に諸国への道のりを計算!〈里程元標跡〉前編
- 鉄製の扉をなぜ木製に見せかけたのか?〈芝川ビル〉前編
- 工作に欠かせない「アレ」のメーカー〈旧小西家住宅〉後編
- 福澤諭吉も学んだ大阪大学のルーツ〈適塾〉後編

右記のQRコードを読み込むか、当協会ホームページにアクセスしてご覧ください。
<https://www.osaka21.or.jp/>



村瀬哲史 (むらせ あきふみ) ▶ 東進ハイスクール 東進衛生予備校 地理講師
「楽しく学ぶ地理」をモットーとした授業で学生に大好評。
一度観ると忘れられない!そんなキャラクターでテレビ・ラジオでも活躍中!